

昭和のテレビ番組・映画〇×クイズ

マルかバツで答えましょう。

問1. NHKの連続テレビ小説、記念すべき第1作目は『おはなはん』である。

【選択肢】

- ・〇
- ・×

問2. ドラマ『水戸黄門』で、初代・水戸光圀を演じたのは東野英治郎である。

【選択肢】

- ・〇
- ・×

問3. 『シャボン玉ホリデー』でおなじみの「お呼びでない？こりゃまた失礼いたしました」というギャグは、植木等の持ちネタである。

【選択肢】

- ・○
- ・×

問4. 時代劇『銭形平次』で、平次が敵に向かって投げるのは「一円玉」である。

【選択肢】

- ・○
- ・×

問5. 特撮ヒーロー『ウルトラマン』の胸にあるカラータイマーは、3分間しか戦えないことを示している。

【選択肢】

- ・○
- ・×

問6. クイズ番組『連想ゲーム』は、男性チームと女性チームに分かれて対戦していた。

【選択肢】

- ・○
- ・×

問7. ホームドラマ『寺内貫太郎一家』の主人公・貫太郎の職業は、寿司屋の主人である。

【選択肢】

- ・○
- ・×

問8. バラエティ番組『8時だヨ!全員集合』のエンディングで加藤茶さんが呼びかける言葉は「歯みがけよ！」である。

【選択肢】

- ・○
- ・×

問9. ドラマ『サインはV』は、女子プロレスを題材にしたスポ根ドラマである。

【選択肢】

- ・○
- ・×

問10. NHKの人形劇『ひよっこりひょうたん島』で、島が海を動く理由は「島にエンジンがついているから」である。

【選択肢】

- ・○
- ・×

問11. 昭和の大ヒットドラマ『おしん』の舞台となった主な県は、山形県である。

【選択肢】

- ・○
- ・×

問12. 時代劇『遠山の金さん』の主人公・遠山景元の背中に彫られているのは「牡丹の花」である。

【選択肢】

- ・○
- ・×

問13. クイズ番組『アップダウンクイズ』で、10問正解してハワイ旅行を獲得すると、ゴンドラは一番下まで下がる。

【選択肢】

- ・○
- ・×

問14. アニメ『サザエさん』のテレビ放送が始まったのは、昭和時代である。

【選択肢】

- ・○
- ・×

問15. 刑事ドラマ『太陽にほえろ!』で、石原裕次郎が演じたボスこと藤堂係長は、ブラインド越しに外を覗きながらタバコを吸う姿が印象的だった。

【選択肢】

- ・○
- ・×

問16. 映画『男はつらいよ』シリーズの主人公・車寅次郎の出身地は、東京の浅草である。

【選択肢】

- ・○
- ・×

問17. 黒澤明監督の映画『七人の侍』は、野盗から村を守るために農民たちが7人の侍を雇う物語である。

【選択肢】

- ・○
- ・×

問18. 映画『青い山脈』の主題歌で「若く明るい歌声に」に続く歌詞は、「雪崩は消える」である。

【選択肢】

- ・○
- ・×

問19. 石原裕次郎のデビュー作となった映画は『狂った果実』である。

【選択肢】

- ・○
- ・×

問20. 昭和29年に公開されたゴジラシリーズの第1作目『ゴジラ』は、カラー映画であった。

【選択肢】

- ・○
- ・×

問21. 映画『喜びも悲しみも幾歳月』は、日本各地の灯台を転々としながら暮らす灯台守の夫婦を描いた作品である。

【選択肢】

- ・○
- ・×

問22. 加山雄三主演の映画「若大将シリーズ」で、主人公の田沼雄一が熱中しているスポーツは、常に野球である。

【選択肢】

- ・○
- ・×

問23. 映画『君の名は』で、すれ違う恋人たち(真知子と春樹)が待ち合わせをした有名な橋は「数寄屋橋」である。

【選択肢】

- ・○
- ・×

問24. 映画『二十四の瞳』の舞台となったのは、瀬戸内海に浮かぶ小豆島である。

【選択肢】

- ・○
- ・×

問25. 映画『網走番外地』シリーズなどで主演を務め、「健さん」の愛称で親しまれた俳優は高倉健である。

【選択肢】

- ・○
- ・×

問26. 吉永小百合の主演映画『キューポラのある街』の「キューポラ」とは、鉄を溶かす炉のことである。

【選択肢】

- ・○
- ・×

問27. 映画『東京物語』などを手掛け、ローポジション（低い位置からのカメラアングル）を特徴とした監督は小津安二郎である。

【選択肢】

- ・○
- ・×

問28. 映画『銀座の恋の物語』で、石原裕次郎の相手役を務めたヒロインの女優は浅丘ルリ子である。

【選択肢】

- ・○
- ・×

問29. 映画『にあんちゃん』は、炭鉱の町で親を亡くした4人の兄弟がたくましく生きる姿を描いた、実話に基づいた作品である。

【選択肢】

- ・○
- ・×

問30. 山田洋次監督の映画『幸せの黄色いハンカチ』で、刑期を終えた夫が妻の待つ家に帰った時、掲げられていたハンカチは1枚だけであった。

【選択肢】

- ・○
- ・×

昭和のテレビ番組・映画〇×クイズ(解答と解説)

問1. NHKの連続テレビ小説、記念すべき第1作目は『おはなはん』である。

答え：×

第1作は『娘と私』です。『おはなはん』は昭和41年放送の第6作目で、大変な人気を集めました。

問2. ドラマ『水戸黄門』で、初代・水戸光圀を演じたのは東野英治郎である。

答え：○

東野英治郎さんの「カッカッカ」という豪快な笑い声がお茶の間に親しまれましたね。

問3. 『シャボン玉ホリデー』でおなじみの「お呼びでない？こりやまた失礼いたしました」というギャグは、植木等の持ちネタである。

答え：○

ハナ肇とクレージーキャッツの植木等さんの定番ギャグで、当時の子供たちもよく真似をしていました。

問4. 時代劇『銭形平次』で、平次が敵に向かって投げるのは「一円玉」である。

答え：×

平次が投げるのは「寛永通宝」などの「銭(四文銭)」です。大川橋蔵さんの美しい投げ姿が魅力的でした。

問5. 特撮ヒーロー『ウルトラマン』の胸にあるカラータイマーは、3分間しか戦えないことを示している。

答え：○

3分経つと青から赤に点滅し、ピコンピコンという音でピンチを知らせてハラハラさせられました。

問6. クイズ番組『連想ゲーム』は、男性チームと女性チームに分かれて対戦していた。

答え：○

赤組(女性)と白組(男性)に分かれ、キャプテンのヒントから言葉を当てる、頭の体操になる人気番組でした。

問7. ホームドラマ『寺内貫太郎一家』の主人公・貫太郎の職業は、寿司屋の主人である。

答え：×

小林亜星さんが演じた貫太郎は、東京・谷中にある石材店(石屋)の主人です。ちゃぶ台をひっくり返すシーンが名物でした。

問8. バラエティ番組『8時だヨ!全員集合』のエンディングで加藤茶さんが呼びかける言葉は「歯みがけよ！」である。

答え：○

「歯みがけよ!」「お風呂入れよ!」「宿題やれよ!」など、子供たちへの愛情ある呼びかけが毎週の楽しみでした。

問9. ドラマ『サインはV』は、女子プロレスを題材にしたスポ根ドラマである。

答え：×

女子バレーボールを題材にしたドラマです。必殺技の「稲妻落とし」や「X攻撃」が話題になりました。

問10. NHKの人形劇『ひよっこりひょうたん島』で、島が海を動く理由は「島にエンジンがついているから」である。

答え：×

火山の噴火によって島が根元から折れ、海を漂流し始めたというのが物語の始まりです。

問11. 昭和の大ヒットドラマ『おしん』の舞台となった主な県は、山形県である。

答え：○

山形県の貧しい農村に生まれた少女の波乱万丈な生涯を描き、最高視聴率62.9%を記録する社会現象になりました。

問12. 時代劇『遠山の金さん』の主人公・遠山景元の背中に彫られているのは「牡丹の花」である。

答え：×

名前の通り「桜吹雪」の刺青です。「この桜吹雪が目に入らぬか！」の決め台詞とともに悪を裁く姿が痛快でした。

問13. クイズ番組『アップダウンクイズ』で、10問正解してハワイ旅行を獲得すると、ゴンドラは一番下まで下がる。

答え：×

正解するごとにゴンドラが上がり、10問正解すると一番上に到達して祝福のファンファーレが鳴り響きました。

問14. アニメ『サザエさん』のテレビ放送が始まったのは、昭和時代である。

答え：○

昭和44年(1969年)に放送が開始され、今も日本の日曜日の夕方を彩る長寿番組ですね。

問15. 刑事ドラマ『太陽にほえろ！』で、石原裕次郎が演じたボスこと藤堂係長は、ブラインド越しに外を覗きながらタバコを吸う姿が印象的だった。

答え：○

ブラインドを少し指で下げて外を見るボスの渋い姿は、多くの人が真似をした名シーンです。

問16. 映画『男はつらいよ』シリーズの主人公・車寅次郎の出身地は、東京の浅草である。

答え：×

東京の下町・葛飾柴又(かつしかしばまた)です。帝釈天の参道にあるお団子屋さんが実家ですね。

問17. 黒澤明監督の映画『七人の侍』は、野盗から村を守るために農民たちが7人の侍を雇う物語である。

答え：○

日本映画を代表する傑作であり、後にハリウッドでも『荒野の七人』としてリメイクされました。

問18. 映画『青い山脈』の主題歌で「若く明るい歌声に」に続く歌詞は、「雪崩は消える」である。

答え：○

「若く明るい歌声に 雪崩は消える 花も咲く」と続きます。戦後の日本に希望を与えた明るい歌声でした。

問19. 石原裕次郎のデビュー作となった映画は『狂った果実』である。

答え：×

俳優としてのデビュー作は『太陽の季節』です。『狂った果実』は、その後製作された初主演作となります。

問20. 昭和29年に公開されたゴジラシリーズの第1作目『ゴジラ』は、カラー映画であった。

答え：×

第1作目は白黒(モノクロ)映画でした。白黒ならではの陰影が、ゴジラの恐ろしさをより際立たせていました。

問21. 映画『喜びも悲しみも幾歳月』は、日本各地の灯台を転々としながら暮らす灯台守の夫婦を描いた作品である。

答え：○

厳しい自然の中で職務を全うする夫婦の姿を描き、同名の主題歌も大ヒットして歌い継がれています。

問22. 加山雄三主演の映画「若大将シリーズ」で、主人公の田沼雄一が熱中しているスポーツは、常に野球である。

答え：×

作品によって異なり、水泳、スキー、ヨット、マラソンなど、様々なスポーツで万能な活躍を見せました。

問23. 映画『君の名は』で、すれ違う恋人たち(真知子と春樹)が待ち合わせをした有名な橋は「数寄屋橋」である。

答え：○

ラジオドラマから映画化され、「忘却とは忘れ去ることなり」のナレーションや「真知子巻き」が流行しました。

問24. 映画『二十四の瞳』の舞台となったのは、瀬戸内海に浮かぶ小豆島である。

答え：○

高峰秀子さん演じる大石先生と、12人の子供たちのふれあいと戦争の悲劇を描いた、涙なしには見られない名作です。

問25. 映画『網走番外地』シリーズなどで主演を務め、「健さん」の愛称で親しまれた俳優は高倉健である。

答え：○

厳しい寒さの北海道を舞台に、不器用ながらも男気あふれる姿が多くファンを魅了し続けました。

問26. 吉永小百合の主演映画『キューポラのある街』の「キューポラ」とは、鉄を溶かす炉のことである。

答え：○

埼玉県川口市の鋳物工場を舞台に、貧しい環境でも前を向いてたくましく生きる少女の姿が描かれました。

問27. 映画『東京物語』などを手掛け、ローポジション（低い位置からのカメラアングル）を特徴とした監督は小津安二郎である。

答え：○

畳に座る日本人の生活様式に合わせた独特のカメラワークは、世界中の映画監督に大きな影響を与えました。

問28. 映画『銀座の恋の物語』で、石原裕次郎の相手役を務めたヒロインの女優は浅丘ルリ子である。

答え：○

大ヒットした同名のデュエット曲をモチーフに作られた映画で、二人の共演は当時大きな話題を呼びました。

問29. 映画『にあんちゃん』は、炭鉱の町で親を亡くした4人の兄弟がたくましく生きる姿を描いた、実話に基づいた作品である。

答え：○

昭和34年に公開され、貧しいながらも健気に助け合って生きる兄弟の姿が日本中の涙を誘いました。

問30. 山田洋次監督の映画『幸せの黄色いハンカチ』で、刑期を終えた夫が妻の待つ家に帰った時、掲げられていたハンカチは1枚だけであった。

答え：×

家の前のポールには、数え切れないほどのたくさんの黄色いハンカチが風に舞っており、感動のラストシーンとなりました。